

挑戦！焼却ごみ1/3削減 ～ 千葉市生ごみ分別収集事業～



千葉市焼却ごみ3分の1削減キャラクター
へらそうくん

平成21年10月16日

千葉市 環境局 環境管理部 ごみ減量推進課

千葉市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

- 基本方針1
ごみを作らない出さない環境づくりの推進
- 基本方針2
徹底した分別による焼却ごみ削減の推進
- 基本方針3
環境負荷の低減と経済性・効率性を考慮した
ごみ処理の推進

基本方針2

徹底した分別による焼却ごみ削減の推進

本方針達成のための9つの個別事業の1つ

「生ごみの再資源化の推進」

(1) 家庭系生ごみのバイオガス化処理の検討

平成19～21年度: 検討・モデル事業

平成22～23年度: 手法検討

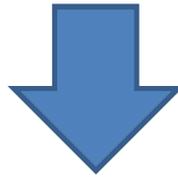
平成23年度末: 実施判断

(2) 事業系生ごみの再資源化の促進

モデル事業の目的

現状

- 生ごみは、ごみステーションに排出される可燃ごみの約4割。
- 生ごみ減量・再資源化のひとつの手法として、「生ごみ減量処理機購入補助制度」を実施。
- 生ごみ減量処理機等を活用できる環境にある市民は限られており、現状では生ごみの多くが焼却処理。



蘇我エコロジーパーク内の「メタン発酵ガス化施設」を利用し、モデル地域を選定したうえで、家庭系生ごみの分別収集及びバイオガス化処理の実現に向けた検討を行う

モデル地域

- 緑区大椎町の一部
平成19年11月より開始。約870世帯。
- 若葉区加曽利町の一部
平成20年10月より開始。約60世帯。
- 美浜区幸町の一部
平成20年10月より開始。約1,660世帯。

モデル地域への実施説明

～ 緑区大椎町(平成19年11月27日開始)の例～

説明会の開催(計4回)

平成19年5月13日

モデル事業の目的・概要の説明

平成19年6月18日

住民の懸念(カラスや臭いへの対策など)への
対応策の説明

平成19年9月5日

物品(蓋付バケツ、生ごみ専用袋)の住民への
配布など、実施に当たっての詳細の打ち合わせ

モデル地域への実施説明

～ 緑区大椎町(平成19年11月27日開始)の例～

説明会の開催(計4回)

平成19年11月3日

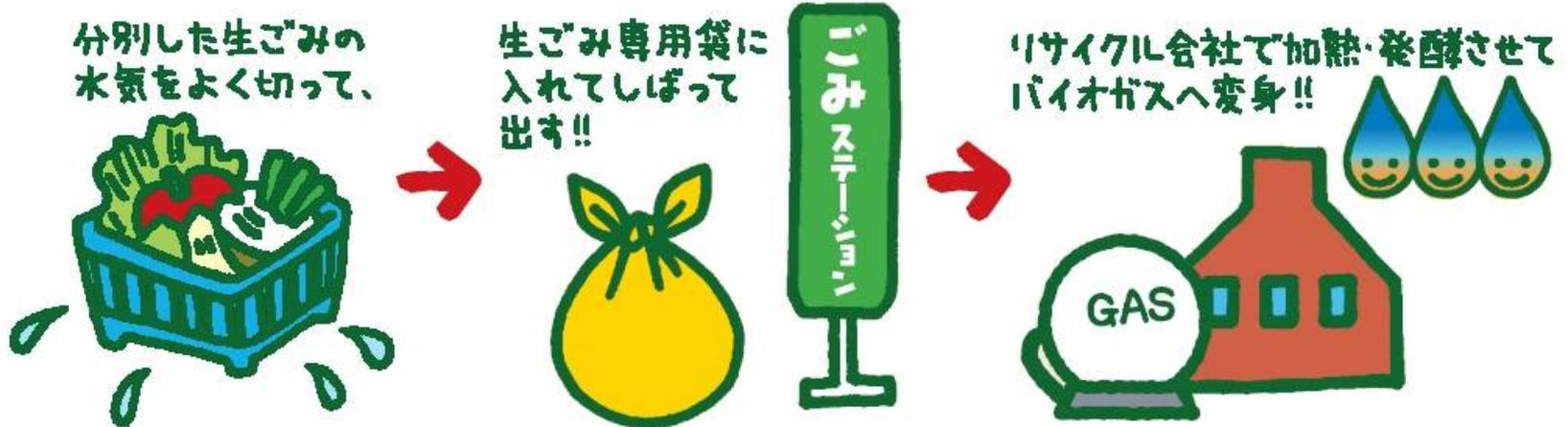
具体的内容(生ごみ分別収集開始日、物品配布日など)の確定

施設見学会の実施(平成19年11月14日)

メタン発酵ガス化施設(ジャパン・リサイクル(株)千葉バイオガスセンター)の見学を実施

生ごみリサイクルの流れ

★生ごみリサイクルの流れ★



生ごみ分別の方法

生ごみとして出す主な物

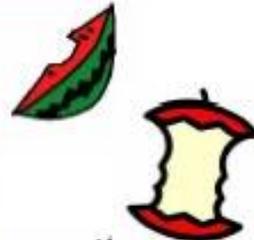
根菜類

(大根、ニンジン、漬け物など)



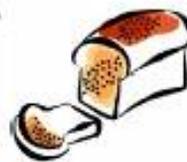
葉物類

(白菜、キャベツなど)



果物類

(スイカ・メロンの皮など)



練り製品

(かまぼこなど)



肉、魚、穀物類、 残飯、菓子類



コーヒーかす、茶がら

(ティーバッグなどの袋は不可)



卵の殻、切り花



生ごみとして出してはいけない主な物



骨類

貝殻類

蟹などの殻

トウモロコシなどの皮



液状の物

大量の調味料

油

医薬品



たばこ

割り箸、木

紙類

ラップ類



発泡トレイ

レジ袋

ガラス・陶器

金属など

ごみステーションへの排出方法



生ごみ→カラス対策用生ごみ専用袋(黄色)へ入れ、
ごみステーションの片側へ置く。
可燃ごみ→千葉県指定袋へ入れ、反対側に置く。

食用厨芥類調査結果

食用厨芥類の調査結果(平成19年度及び平成20年度)【緑区大椎町区域】

調査日	食用厨芥類		合計
	【可燃ごみ】	【生ごみ】	
H19.11.20 (開始前)	179.568 g	-	179.568g
	100.00 %	-	100.00%
H19.12.4 (開始後1)	84.334 g	108.616 g	192.950g
	43.71 %	56.29 %	100.00%
H20.2.5 (開始後2)	91.947 g	97.163 g	189.110g
	48.62 %	51.38 %	100.00%
H20.7.29 (20年度1)	81.507 g	102.292 g	183.799 g
	44.35 %	55.65 %	100.00%
H20.8.26 (20年度2)	79.311 g	99.805 g	179.116 g
	44.28 %	55.72 %	100.00%
H20.9.30 (20年度3)	84.939 g	83.130 g	168.069 g
	50.54 %	49.46 %	100.00%
H20.12.2 (20年度4)	81.347 g	99.225 g	180.572 g
	45.05 %	54.95 %	100.00%
H21.2.3 (20年度5)	104.771 g	118.628 g	223.399 g
	46.90 %	53.10%	100.00%

モデル事業参加者の主な声

(大椎台自治会ごみ専門部発行「ゴミ専門部ニュース」より)

- 思ったより面倒でなかった。
- 可燃ごみを出す回数が3回から2回に減った。
- 生ごみの袋には猫が来るが、可燃ごみの袋にはカラスが来なくなった。
- 生ごみの臭いがもっとキツイと思ったが、今のところ大丈夫だ。
- 回収後簡単な清掃を業者がしていくので助かる。